

琉球大学学術リポジトリ

共通教育等科目提供の適正規模をいかにして設定するか：
単位取得モデルを基軸にした必要クラス規模の試行的算出

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学大学教育センター 公開日: 2018-07-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 山田, 美都雄, Yamada, Mitsuo メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/41267

共通教育等科目提供の適正規模をいかにして設定するか

～単位取得モデルを基軸にした必要クラス規模の試行的算出～

山田美都雄（URGCC 推進支援室研究員）

1. 本課題の概要

(1) 本稿の目的

本稿の目的は、本学の共通教育等科目（共通教育科目と専門基礎科目）の提供に係る適正規模について、一つの数量的モデルをもとに算出した結果を示すことで、本学の現況把握ならびに将来的な共通教育の在り方に対して、数量的なイメージを提示することにある。

なぜこのようなことを行うのかと言えば、その理由は大きく分けて2つある。第一に、本学の大学教育（ここでは主として共通教育）がどの程度の規模で行われているのかを認識し、さらにその理想的な在り方の基準を探ることは、昨今の大学教育の質保証という文脈において、当然のことながら求められてくるからだ。例えば、学生数に比して提供する科目数が極端に過小の場合、学生は教室からあふれ出ることになるであろうし、逆に提供科目が極端に過剰の場合は、教室の数や教員の数が足りなくなってしまうといった事態に陥ることが考えられる。

本学の現況はこのような極端な状態になってはいないとしても、少なくとも、科目提供の規模をいかなる水準で提供するかについて思考をめぐらすことは、大学教育の改善に結びつくという言い得るであろう。なお、この点は、言うまでもなく、大学設置基準第24条（授業を行う学生数）において、「大学が一の授業科目について同時に授業を行う学生数は、授業の方法及び施設、設備その他の教育上の諸条件を考慮して、教育効果を十分にあげられるような適当な人数とする」という基準と符合する部分である。

第二に、本学の教員負担の問題が挙げられる。本学では、周知のように、平成9年（1997年）3月31日付で教養部が廃止された。そして、これに伴い共通教育等科目の提供にかかる責任は、分属された教員のノルマ数という形で各学部に分散した。それゆえに今日、共通教育の教員負担について、学部間あるいは教員間の公平性を保つための議論の必要性が生じているといえる。このことから、一つの数量的指標を作成し、それを洗練させる足がかりを用意しておくことは、決して無駄な作業ではないと考えられる。

本稿では、以上のことから、現在、本学が提供している共通教育等科目が、果たして適切な規模で提供されているのか、あるいは供給過剰／過少となっているのかを判断するための一つの議論の材料を提供することを目的とする。なお、ここでは、「適正規模」を「必要クラス規模」として提示する。その第一の理由は、適正規模という表現では、それが、教員が受け持つ「コマ数」を指すのか、あるいは学生に用意される「クラス数」を示すのか、はたまた大学が用意すべき「科目数」を指しているのかが判然としないからである。また第二の理由として、適正規模とは誰に対しての適正さなのかと問うた場合、それは第一義的には、実際に学習する学生であると考えられるからであり、それゆえに本稿では、学生を抱え込むのに必要なクラス数（必要クラス規模）に焦点を当てるのである。以下、今回の算出プロセスについて説明するが、その前に、算出について簡単なイメージがつか

めるよう、事前の解説をしておきたい。

(2) 分析のイメージを描くために

今回行う算出は、実のところ、一筋縄にはいかない部分が多い。その原因は、本学の共通教育においては、学生がどの科目を選択するのかが読めない（言い換えれば、学生の自由度が大きい）という問題が厳然としてあることによる。もし、学生一人一人に対して「〇年次の△学期の□限目に科目Xを履修せよ」という形ですべてを指定し、さらに「指定外の科目の履修を禁止する」と指導している大学であれば、大学が提供すべき必要クラス数は、容易に算出ができるだろう。

しかし、言うまでもなく、本学の共通教育等科目の提供の仕組みはそうではない。本学の共通教育では、各学生が所属する学部領域において、いくつかの単位取得規定が敷かれているものの、個別具体的な科目の受講を指定するようなものは少数である。実情は、例えば人文系領域から4単位以上取得せよ、という形で指定している場合がほとんどである。すなわち、本学の共通教育システムは、①個別具体的な科目の指定、②定数としての取得単位数の指定、のいずれについても行っていないがゆえに、学生の科目選択に大きな自由度が生じ、結果的に必要クラス規模の算出が困難となるのである。

それでは、この必要クラス規模はいかにして算出すればよいのだろうか。まず断っておくべきであることとして、本学の共通教育のように、学生の科目選択行動に大きな不確定要素がある（すなわち、学生側に大きな自由度がある）場合、その適正規模を算出するには、いくつかの「仮定」を挿入することがどうしても必要になってくる、ということである。これは、学生が実際にどのような選択行動をとるのかについては、事後的にしか知りえないため、現実問題としてこの仮定がなければ、算出作業を進めることはできないからである。以下では、今回試みた算出プロセスを示し、その結果と現状とのすりあわせから、本学の共通教育の提供がどのような状態にあるのかを把握することを目指す。そしてまた、現状の算出プロセスが抱える問題点および今後の共通教育等科目提供の方向性について考察する。なお、次節では、1学年分を想定した算出結果を示していることに注意されたい。

2. 必要クラス数の算出プロセス

今回の必要クラス規模の試行的算出は、各学部の入試区分（入学定員を設けている単位区分）ごとに、新カリキュラムかつ昼間主対象で現在開講されている科目領域^aを対象に行った。以下、必要クラス規模の算出プロセスについて、法文学部法学専攻（平成22年度）の例示を加えながら解説する。なお、章末に、全学部についての算出結果を明示した算出表を付しているので、適宜参照されたい。

(1) 取得すべき単位数（必要単位数）と単位規定（領域単位規定）を確認する

まず、共通教育等科目の卒業要件として必要である単位数（以下、必要単位数）について確認する。この必要単位数は、各入試区分によって異なっている。次に、どの科目領域

^a 日本語・日本事情の科目領域は除外した。

から何単位を取得すべきかという単位規定（以下、領域単位規定）を確認する。この領域単位規定も各入試区分によって異なる。なお、領域単位規定には、個別領域単位規定（以下、個別領域規定）と複数領域単位規定（以下、複数領域規定）があるので、その両方について確認する。

【例1：法学専攻の必要単位数と領域単位規定の確認】

- ①法学専攻の必要単位数は40単位である。
- ②そのうち、個別領域規定は健康運動2単位、人文4単位、社会4単位、自然4単位、外国語12単位である。外国語については、第一外国語が8単位、第二外国語が4単位とされている。
- ③複数領域規定は、人文、社会、自然、一般、高学年次、琉大特色、情報の科目領域にわたっており、計26単位となっている。

(2) (1) で確認した単位規定をもとに、「単位取得想定モデル」を作成する

次に、単位取得想定モデル（以下、想定モデル）を作成する。ここでいう想定モデルとは、各入試区分の領域単位規定に基づき、所属学生が比較的高い確率で選択すると想定される、単位取得に関するパターンモデルのことである。

今回、この想定モデルの作成を、以下の手順で進めた。

- ①個別領域規定を、想定モデルとして暫定的に設定する。
- ②複数領域規定のうち、個別領域規定のない領域を確認する。
- ③②で確認された領域について、表1に示す科目種類数の順位表をもとに、その数が多い順に、2単位（主として1コマ分にあたる）ずつ割り振っていく^b。その途中で、必要単位数に達した場合、その時点で割り振りを終える^c。なお、外国語および専門基礎の2領域は、個別領域規定通りの選択が大半を占めるとの推測から適用外としている。また、情報領域については、履修がほぼ必須であるとの認識から、2単位（1コマ）に限り優先的に想定モデルに含めることにする。

表1 科目種類数の順位表（領域別）

順位	1位	2位	3位	4位	5位		6位	7位
領域名	人文	総合一般	琉大特色	社会	自然	健康運動	総合高学	情報
科目種類数	38	30	26	23	21	21	7	2

※1 外国語および専門基礎の2領域は対象外とした。

※2 情報はほぼ必須であるという認識から、優先的に想定モデルに含めた。

^b 科目種類数の多い方から順々に取得単位として設定するという論理は、「科目の種類が多ければ学生に単位取得される可能性が高くなる」という単純な想定に基づいたものである。この点で、別の基準が採用されるべきか否かは、論点となりうる。

^c ただし、一様に割り振ることで複数領域等の条件を満たせなくなってしまう場合を除く。

④③を経ても、必要単位数に達しない場合、個別領域規定となっていた領域をも含めた全領域（外国語、専門基礎の2領域を除く）において、もう一巡、表1に基づいて2単位（1コマ）分ずつ割り振っていき、必要単位数に到達した時点で割り振りを終える。このとき、①で暫定的に設定されていた数値を、必要に応じて新しい数値に更新する。

【例2: 法学専攻の想定モデルの作成】

- ①例1で扱った、個別領域規定をひとまず想定モデルとする。
- ②複数領域規定のうち、個別領域規定がないのは、一般、総合高学、琉大特色、情報である。
- ③まず情報領域の2単位を割り振り、次いで、表1に基づいて、この時点で未だ想定モデルに含まれていない領域について、総合一般、琉大特色、総合高学の順に2単位ずつ割り振る。
- ④その結果、合計単位数は34単位となった。これではまだ必要単位数に達していないため、さらに全領域（外国語、専門基礎を除く）について、（表1に従って）人文、総合一般、琉大特色の順に2単位ずつ加算して埋めていく。この時点で、必要単位数に達するため、割り振り作業を終える。
⇒想定モデルの完成！

（3）単位取得想定モデルから、各科目領域について「必要科目数」を求める

つづいて、想定モデルとして割り振られた各領域の単位数から、科目領域別に、実際に提供が必要となる科目数（以下、必要科目数）を算出する。算出においては、ほとんどの場合、各領域の単位数を2（1科目あたりの単位数）で割ることで求まる。しかし、第一外国語について、ここでは「全学生が英語を履修する」という仮定を挿入しているため、「大学英語」（ほとんどの英語履修学生が取得する科目）が4単位であることを考慮し、領域の単位数から「予め4を引いた上で、2で割り、その後大学英語の1科目分を加える」という処置を行った。また、専門基礎領域について、理学部、医学部、工学部、農学部などで用件として課されている1単位の科目（実験科目が主）については、領域の単位数から「それらの分（科目数分の単位数）を引いたうえで、2で割り、その後該当科目数を加える」として対処した。

【例3: 法学専攻の必要科目数の算出】

- ①想定モデルの外国語領域以外の領域の単位数を2で割り、必要科目数を求める。
- ②第一外国語（英語）領域において、12単位から、大学英語分の4を引いたうえで、残りを2で割り、その後、大学英語の1科目分を加える。

（4）各科目領域の定員比を求める

次に、各科目領域の定員比を求める。ここでいう定員比とは、各入試区分の入学定員を各科目領域の平均定員で除した数値である。この数値は、ある科目領域に属する科目が、学生をどれほどの規模で収容することができるかを示す指標となる。この定員比を用いることで、当該領域の科目提供にあたり、実際に何クラスを用意する必要があるかを判断することがひとまず可能となる。

なお、ここで使用する各科目領域の平均定員は、全学共通の数値であり、別途計算しておく必要がある。

【例4：法学専攻の健康運動領域の定員比の算出】

法学専攻の入学定員は 55 人、また健康運動領域の科目の平均定員は 38 人であるので、

$$55(\text{入学定員}) \div 38(\text{領域の平均定員}) = 1.4474\dots$$

となる。これが、法学専攻の健康運動領域の定員比である。

この計算を、各科目領域において行う。

(5) 各科目領域の必要クラス規模を求める

各科目領域について、(3) で求めた必要科目数に、(4) で求めた定員比を乗じ、その領域において提供が必要となるクラス規模を算出する。

【例5：法学専攻の健康運動領域の必要クラス規模の算出】

法学専攻の健康運動領域の必要科目数に定員比を乗じ、必要クラス規模を領域別に算出すると、以下ようになる。

$$1(\text{必要科目数}) \times 1.4474\dots(\text{定員比}) = 1.45 \text{ (小数点第 2 位までを表示)}$$

これを、各領域について行う。

(6) 1 学年分全体の必要クラス規模を求める

(5) で算出された領域別の必要クラス規模の算出を全入試区分において行う。そしてその総和として求められる数値こそ、1 学年分の共通教育等科目の提供に係る必要クラス規模である。

【例6：共通教育等科目の1学年分の必要クラス規模の算出】

表 2 は、1 学年分の共通教育等科目の必要クラス規模について、各科目領域と各学部とのクロス集計を行った結果である。これを見ると、全体の必要クラス規模は、510.5 であった。ただし、第二外国語に関しては、ここでの仮定では1種類の科目体系のみしか想定していない、すなわち中国語やドイツ語、フランス語といったような多様性を考慮できないため、あくまで参考値である。したがって、総和としての全体必要クラス規模についても参考値となる。このことから、表 2 は、科目領域ごと(横方向)に必要クラス規模を見ていくほうが、実用性が高いと考えられる。例えば、健康運動領域について、1 学年分の卒業要件を満たすには 40 のクラス(小数点を切り上げている)を開講することが必要となる、と読むことができる。

表2 1学年分の共通教育等科目の必要クラス規模（科目領域×学部）

	法文	観光	教育	理学	医学	工学	農学	計
健康運動	9.1	3.2	5.0	5.3	1.6	8.4	6.8	39.3
人文	11.1	3.5	2.4	4.2	3.9	8.1	3.0	36.2
社会	7.1	2.5	2.0	3.7	3.4	3.9	2.7	25.3
自然	8.2	2.9	2.4	2.4	1.4	2.9	1.5	21.7
総合	12.1	3.6	2.4	4.9	5.3	9.6	3.9	41.7
琉大特色	6.7	3.0	2.0	2.5	0.8	4.1	1.6	20.7
情報	8.6	3.0	4.8	5.0	4.2	10.3	3.3	39.1
英語	31.9	12.4	12.3	16.0	8.1	28.2	11.5	120.3
第二外国	30.6	3.9	0.0	12.9	10.8	20.6	8.4	87.2
専門基礎	0.0	0.0	1.1	21.4	16.6	27.5	12.4	78.9
計	125.4	37.8	34.3	78.3	56.0	123.5	55.1	510.5

※1 日本語・日本事情は除く。

※2 第二外国語は参考値。

3. 現況とのすり合わせ

本節では、本学全体の共通教育等科目における必要クラス規模の提供モデル（以下、提供モデル）を示し、実際の提供クラス数との比較を行う。

前節での算出は、「1学年分」の共通教育等科目の卒業要件を満たすという前提で行ったものであった。しかし、言うまでもなく、実際の共通教育等科目の提供は、1学年のみを対象としているのではなく、複数学年を対象にしている。表3はこの点を考慮し、前節で求めた1学年分の提供モデルに加え、1.5、2、2.5学年分の各提供モデルについて示したものである。また、この表の右端の2列には、実際の提供クラス数、配当学年数（実際の提供クラスが本提供モデルの何学年分にあたるのか）を示している。

この表では、科目領域ごとに、実際の提供クラス数に最も近似する数値（セル）の背景を薄黒くして示しているが、この点に着目してみると、全体的な傾向としては、多くの科目領域が1.5学年分の提供モデルに近似した値をとっていることがわかる。このことは、本学の共通教育等科目の提供が、1年次の学生のみを対象としたものではなく、2年次の前期までは共通教育等科目を履修するであることを見越して設定していることの表れと見ることができる。

次に、配当学年数について見ると、社会系が突出して高く、2.5学年分となっており、次いで琉大特色が1.9学年分、自然が1.8学年分という順であった。社会系は、表1で見たとおり、科目種類数は人文系と比較して15科目少ないが、実際の提供クラス数ベースで見ると、ほぼ等程度となっている（表3参照）。これは、社会系において、同じ科目名で、多くの複数クラスを有するものが多いという事実を反映しているためと見ることができる。しかし、今回作成した提供モデルを通して見ると、その差は大きく、それゆえ、社会系は相対的に供給が過剰の傾向がうかがえる。

表3 提供モデルと実際の提供状況（昼間主、新カリ）

	必要クラス規模の提供モデル				実際の提供 クラス数	配当学年数 (実際の提供クラ ス数/1学年分)
	1学年分	1.5学年分	2学年分	2.5学年分		
健康運動	39.3	59.0	78.7	98.4	56	1.4
人文	36.2	54.4	72.5	90.6	62	1.7
社会	25.3	37.9	50.6	63.2	63	2.5
自然	21.7	32.6	43.4	54.3	38	1.8
総合	41.7	62.6	83.4	104.3	46	1.1
琉大特色	20.7	31.0	41.4	51.7	39	1.9
情報	39.1	58.6	78.1	97.6	51	1.3
英語	120.3	180.5	240.6	300.8	142	1.2
第二外国	87.2	130.8	174.5	218.1	115	1.3
専門基礎	78.9	118.4	157.9	197.4	129	1.6
計	510.5	765.8	1021.1	1276.3	741	

※1 日本語・日本事情は除く。

※2 提供モデルの第二外国語は参考値。

4. 本分析の問題点と今後の展望

ここまで共通教育等科目の提供のための必要クラス規模の算出を試みてきたが、ここでの結果は、前述のように、いくつもの仮定を前提としたものであった。これらの仮定は、より現実合う仮定が設定できるのであれば、直ちにそちらに移行されるべきものである。ここでは、今回の分析で便宜的に使用した仮定（前提）を整理し、その仮定の問題性がどこにあるのかを確認し、そして今後の展望について述べる。

(1) 本分析で使用した仮定の整理

【仮定1】卒業要件基準の算出

本分析では、卒業要件を基準とした単位取得想定モデルを作成し、このモデルを用いて必要クラス規模の算出を行っている。これは、学生が卒業要件として設定された単位分しか共通教育等科目の授業を取らないという前提、すなわちミニマムの観点に立っているということを意味する。しかし実際に、学生は、自由科目として共通教育等科目を受講していたり、あるいはたとえ卒業単位に換算されなくても学生本人の興味・関心から受講したりすることも考えられる。したがって、本分析においては、その点について、現実とのギャップが存在している。

【仮定2】科目領域の平均定員の使用

本分析では、各科目の定員ではなく、各科目領域全体の平均定員という集概念を用いている。平均定員を用いることで、計算自体は飛躍的に容易になるものの、個々の授業について直接的に扱っているわけではないため、一定の誤差を生じさせる原因となっている。

【仮定3】科目種類数の使用

本分析では、想定モデルを作成する際、複数領域規定に関する単位取得の想定基準として、開講科目の種類数の順位表を採用している。しかし、実際、学生は自身の属する専門領域や興味、授業の人気、授業の定員、教員の評価の厳格さといった種々の要因を勘案して、単位取得の行動へ及ぶことが考えられる。本分析では、この点を捨象し、単位取得に対して機械的に割り振ることで、想定モデルを作成していることについては、注意が必要である。

【仮定4】第一外国語を英語に設定

本分析では、第一外国語を英語として設定している。制度的に言えば、第一外国語を英語以外の外国語にすることは、(各入試区分の規定がある場合を除いて)禁止されていない。しかし、ここではその可能性を捨象していることになる。

【仮定5】第二外国語は1種類の言語科目としての算出

本分析では、第二外国語の多様性を勘案できておらず、1種類の言語科目としてしか算出していない。そのため、本分析での想定モデルおよび提供モデルにおける第二外国語の数値はすべて参考値となっている。

【仮定6】第二外国語はすべて2単位に設定

本分析では、第二外国語について、すべての科目を2単位として扱っている。実際には、ドイツ語、フランス語、スペイン語において初級者向けの講義は1科目2単位になっているが、中国語、朝鮮語の同レベルの講義では1科目4単位となっており、この点を統制できていない。今回は、過少に見積もるより、過大に見積もるほうが、リスクが低いという判断から、第二外国語はすべて2単位として計算した。

これらのように、今回の算出プロセスにおいて、便宜的に多くの仮定を挿入したため、必然的に現実との隔たりが生じ、数多くの問題点を抱え込む結果となっている。しかし、今回の算出結果を見れば、おおむね1.5学年分前後に分布しており、ある程度の汎用性の水準は維持されているものと推測される。これらのことを認識し、今後より改善された算出モデルを作成していく姿勢を持つことが求められる。

(2) 今後の展望

それでは、今後、共通教育等科目の提供をいかなる形で進めていくべきであろうか。ここでは、いくつかの必要な観点を三つ提示し、本分析のまとめに代えたい。

第一に挙げられるのは、過去の学生の科目選択行動データ(科目選択の確率に関するデータ)を用いて単位取得想定モデルを算出するという方向性である。本分析では、どの入試区分についても、同一の単位取得の想定を当てはめて設計していたが、実際には、各入試区分で、どの科目領域の科目を選択する率が高いか低いかは異なるはずである。この観点を踏まえて想定モデルに反映させることで、本学の共通教育等科目として提供すべき必要クラス規模は、より精度の高いものとなるだろう。そして、これらのデータを本学全体

として反映すれば、本学独自の共通教育モデルが描けるであろうし、また、各学位プログラム（学士教育プログラム）全体の方針を決定する際の参考資料としても用いることができるものとなる。

第二に、共通教育等科目の設計を踏まえた科目提供について、どの範囲までを「必要」とみなすのかという、一種の価値的な問題が挙げられる。今回のモデル設計自体は、卒業要件を基準としたミニマム設計であったが、実際に科目提供する際に、ある程度の余裕を持たせた科目提供を行うのか、あるいはそもそも何学年分の規模と定めた上で提供するのか（現況では1.5学年分に近い数値であった）といったことは、当該大学の意志決定に依るものである。数量的なモデルを持ちつつも、一方で科目提供の必要性に関する価値基準をどのラインで設定するのかについて、大学内で十分な議論を経ることが求められよう。

第三に、科目の多様性 (variety) をいかにして設計するかという問いもまた残されている。すでにあるミニマムな基準に対して、科目の多様性をどのような水準で織り交ぜるのかについてもまた、各大学の価値判断に依存する事柄である。つまり、この多様性をどれほど盛り込むのか、あるいはどのように盛り込むのかは、大学の持つ理念の教育内容的側面を映した鏡となるわけである。例えば、ミニマム基準の10%分を多様性の枠として上乘せする、はたまた流動性の高い時代においてこそ、哲学的な講義をミニマム基準を超えてでも手厚く配備する、といった態度には、その大学独自の共通教育の内容的側面に対する考え方（個性）を見ることができよう。

このように、今回行った共通教育得科目の提供に係る必要クラス規模の算出という作業は、大学が今後どうあるべきか（言い換えれば大学教育の質保証をどうするか）について、自己反省の機会を提供しているといえる。理念とデータを持ちながら、今後よりよい共通教育体制が構築されることを期待したい。

【参考文献】

琉球大学教育改善特別委員会，1994，『琉球大学の教育課程の改革』。

◇共通教育等科目の提供に係る必要クラス規模算出表(法文、昼間主、新カリ)

学科 課程等	専攻 専修 コース 系	入学 定員	必要 単位数	科目	領域	平均 定員	個別領域 単位規定	単位取得 想定モデル	複数領域 単位規定	必要 科目数	定員比 (入学定員/ 平均定員)	必要クラス 規模	備考
総合社会システム学科	法学専攻	55	40	教養	健康運動	38	2	2	26	1	1.4474	1.45	
					人文	86	4	6		3	0.6395	1.92	
					社会	97	4	4		2	0.5670	1.13	
					自然	84	4	4		2	0.6548	1.31	
				総合	一般	80		4		2	0.6875	1.38	
					高学年次	57		2		1	0.9649	0.96	
					琉大特色	79		4		2	0.6962	1.39	
				基幹	情報	40		2		1	1.3750	1.38	
					英語	34	8	8		3	1.6176	4.85	第一外国語⑧
					第二外国	31	4	4		2	1.7742	3.55	第二外国語④
	専門基礎教育	専門基礎	68										
	合計						26	40		19		19.3	
	経済学専攻	65	40	教養	健康運動	38	2	2	26	1	1.7105	1.71	
					人文	86	4	6		3	0.7558	2.27	
					社会	97	4	4		2	0.6701	1.34	
					自然	84	4	4		2	0.7738	1.55	
				総合	一般	80		4		2	0.8125	1.63	
					高学年次	57		2		1	1.1404	1.14	
					琉大特色	79		4		2	0.8228	1.65	
				基幹	情報	40		2		1	1.6250	1.63	
					英語	34	8	8		3	1.9118	5.74	第一外国語⑧
					第二外国	31	4	4		2	2.0968	4.19	第二外国語④
	専門基礎教育	専門基礎	68										
	合計						26	40		19		22.8	
	政治・国際関係専攻	50	40	教養	健康運動	38	2	2	38	1	1.3158	1.32	
					人文	86	4	4		2	0.5814	1.16	
					社会	97	4	4		2	0.5155	1.03	
自然					84	4	4	2		0.5952	1.19		
総合				一般	80		2	1		0.6250	0.63		
				高学年次	57		2	1		0.8772	0.88		
				琉大特色	79		2	1		0.6329	0.63		
基幹				情報	40		2	1		1.2500	1.25		
				英語	34	10	10	4		1.4706	5.88	第一外国語⑩	
				第二外国	31	8	8	4		1.6129	6.45	第二外国語⑧	
専門基礎教育	専門基礎	68											
合計						32	40		19		20.4		

学科 課程等	専攻 専修 コース系	入学 定員	必要 単位数	科目	領域	平均 定員	個別領域 単位規定	単位取得 想定モデル	複数領域 単位規定	必要 科目数	定員比 (入学定員/ 平均定員)	必要クラス 規模	備考	
人間科学科	人間行動専攻	31	40	教養	健康運動	38	2	2	26	1	0.8158	0.82		
					人文	86	4	6		3	0.3605	1.08		
					社会	97	4	4		2	0.3196	0.64		
					自然	84	4	4		2	0.3690	0.7		
				総合	一般	80		4		2	0.3875	0.8		
					高学年次	57		2		1	0.5439	0.5		
					琉大特色	79		4		2	0.3924	0.8		
				基幹	情報	40		2		1	0.7750	0.8		
					英語	34	8	8		3	0.9118	2.7	第一外国語⑧	
					第二外国	31	4	4		2	1.0000	2.0	第二外国語④	
	専門基礎教育	専門基礎	68											
	合計			26	40		19		10.9					
	社会学専攻	32	40	教養	健康運動	38	2	2	26	1	0.8421	0.84		
					人文	86	4	6		3	0.3721	1.12		
					社会	97	4	4		2	0.3299	0.66		
					自然	84	4	4		2	0.3810	0.76		
				総合	一般	80		4		2	0.4000	0.80		
					高学年次	57		2		1	0.5614	0.56		
					琉大特色	79		4		2	0.4051	0.81		
				基幹	情報	40		2		1	0.8000	0.80		
					英語	34	8	8		3	0.9412	2.82	第一外国語⑧	
					第二外国	31	4	4		2	1.0323	2.06	第二外国語④	
	専門基礎教育	専門基礎	68											
	合計			26	40		19		11.2					
	地理歴史人類学専攻	32	32	教養	健康運動	38	2	2	18	1	0.8421	0.84		
					人文	86	4	4		2	0.3721	0.74		
					社会	97	4	4		2	0.3299	0.66		
自然					84	4	4	2		0.3810	0.76			
総合				一般	80		2	1		0.4000	0.40			
				高学年次	57		0	0		0.5614	0.00			
				琉大特色	79		2	1		0.4051	0.41			
基幹				情報	40		2	1		0.8000	0.80			
				英語	34	8	8	3		0.9412	2.82	第一外国語⑧		
				第二外国	31	4	4	2		1.0323	2.06	第二外国語④		
専門基礎教育	専門基礎	68												
合計			26	32		15		9.5						

学科 課程等	専攻 専修 コース系	入学 定員	必要 単位数	科目	領域	平均 定員	個別領域 単位規定	単位取得 想定モデル	複数領域 単位規定	必要 科目数	定員比 (入学定員/ 平均定員)	必要クラス 規模	備考	
国際言語文化学科	琉球アジア文化専攻	32	40	教養	健康運動	38	2	2	22	1	0.8421	0.84		
					人文	86	4	6		3	0.3721	1.12		
					社会	97	4	4		2	0.3299	0.66		
					自然	84	4	4		2	0.3810	0.76		
				総合	一般	80		2		1	0.4000	0.40		
					高学年次	57	2	2		1	0.5614	0.56		
					琉大特色	79	2	2		1	0.4051	0.41		
				基幹	情報	40	2	2		/22	1	0.8000	0.80	
					英語	34	8	8			3	0.9412	2.82	第一外国語⑧
					第二外国	31	8	8			4	1.0323	4.13	第二外国語⑧
				専門基礎教育	専門基礎	68								
	合計						36	40			19		12.5	
	英語文化専攻	36	40	教養	健康運動	38	2	2	22		1	0.9474	0.95	
					人文	86	4	6			3	0.4186	1.26	
					社会	97	4	4			2	0.3711	0.74	
					自然	84	4	4			2	0.4286	0.86	
				総合	一般	80		2			1	0.4500	0.45	
					高学年次	57	2	2			1	0.6316	0.63	
					琉大特色	79	2	2		1	0.4557	0.46		
				基幹	情報	40	2	2		/22	1	0.9000	0.90	
					英語	34	8	8			3	1.0588	3.18	第一外国語⑧
					第二外国	31	8	8			4	1.1613	4.65	第二外国語⑧
				専門基礎教育	専門基礎	68								
	合計						32	40			19		14.1	
	ヨーロッパ文化専攻	12	40	教養	健康運動	38	2	2	22		1	0.3158	0.32	
					人文	86	4	6			3	0.1395	0.42	
					社会	97	4	4			2	0.1237	0.25	
自然					84	4	4	2			0.1429	0.29		
総合				一般	80		2	1			0.1500	0.15		
				高学年次	57	2	2	1			0.2105	0.21		
				琉大特色	79	2	2	1		0.1519	0.15			
基幹				情報	40	2	2	/22		1	0.3000	0.30		
				英語	34	8	8			3	0.3529	1.06	第一外国語⑧	
				第二外国	31	8	8			4	0.3871	1.55	第二外国語⑧	
専門基礎教育				専門基礎	68									
合計						30	40			19		4.7		

◇共通教育等科目の提供に係る必要クラス規模算出表(観光、昼間主、新カリ)

学科課程等	専攻専修コース系	入学定員	必要単位数	科目	領域	平均定員	個別領域単位規定	単位取得想定モデル	複数領域単位規定	必要科目数	定員比(入学定員/平均定員)	必要クラス規模	備考		
観光産業科学部	観光科学科	60	40	教養	健康運動	38	2	2	10	26	1	1.5789	1.58		
					人文	86	4	6			3	0.6977	2.09		
					社会	97	4	4			2	0.6186	1.24		
					自然	84	4	4			2	0.7143	1.43		
				総合	一般	80		2			1	0.7500	0.75		
					高学年次	57		2			1	1.0526	1.05		
					琉大特色	79		6			/2	3	0.7595	2.28	ツーリズムリソース開発プロジェクト分野の「観光学演習」希望者は琉大特色の指定科目から6単位。このルールを適用。
				基幹	情報	40		2			/26	1	1.5000	1.50	
					英語	34	8	8				3	1.7647	5.29	第一外国語③
					第二外国	31	4	4				2	1.9355	3.87	第二外国語④
	専門基礎教育	専門基礎	68												
	合計			26	40		19		21.1						
	産業経営学科	60	32	教養	健康運動	38	2	2	20	/20		1	1.5789	1.58	
					人文	86	4	4				2	0.6977	1.40	
					社会	97	4	4				2	0.6186	1.24	
					自然	84	4	4				2	0.7143	1.43	
				総合	一般	80		2				1	0.7500	0.75	
					高学年次	57		2			1	1.0526	1.05		
					琉大特色	79		2			1	0.7595	0.76		
				基幹	情報	40		2			/20	1	1.5000	1.50	
英語					34	10	10	4				1.7647	7.06	英語⑩	
第二外国					31										
専門基礎教育	専門基礎	68													
合計			24	32		15		16.8							

◇共通教育等科目の提供に係る必要クラス規模算出表(教育、昼間主、新カリ)

学科 課程等	専攻 専修 コース 系	入学 定員	必要 単位数	科目	領域	平均 定員	個別領域 単位規定	単位取 得想定 モデル	複数領域単位規定		必要 科目数	定員比 (入学定員/ 平均定員)	必要 クラス規模	備考			
学校 教育 教員 養成 課程	小学 校 教育 実践 学 専修 コース	28	20	教養	健康運動	38	2	2		10	14	1	0.7368	0.74			
					人文	86	2	2				1	0.3256	0.33			
					社会	97	2	2				1	0.2887	0.29			
					自然	84	2	2				1	0.3333	0.33			
				総合	一般	80		2	4	/10	1	0.3500	0.35				
					高学年次	57											
					琉大特色	79		2			1	0.3544	0.35				
				基幹	情報	40	2	2			/14	1	0.7000	0.70			
					英語	34	6	6			2	0.9032	1.81	英語のみの取得を想定。			
					第二外国	31											
				専門基礎教育	専門基礎	68											
				合計							16	20			9		4.9
	小・中 学校 教科 教育 コース	国語 教育 専修	8	20	教養	健康運動	38	2	2		4	14	1	0.2105	0.21		
						人文	86	2	2				1	0.0930	0.09		
						社会	97	2	2				1	0.0825	0.08		
						自然	84	2	2				1	0.0952	0.10		
					総合	一般	80		2	4	/4	1	0.1000	0.10			
						高学年次	57										
						琉大特色	79		2			1	0.1013	0.10			
					基幹	情報	40	2	2			/14	1	0.2000	0.20		
						英語	34	6	6			2	0.2581	0.52	英語のみの取得を想定。		
						第二外国	31										
					専門基礎教育	専門基礎	68										
					合計							16	20			9	
小・中 学校 教科 教育 コース	社会 科 教育 専修	6	20	教養	健康運動	38	2	2		4	14	1	0.1579	0.16			
					人文	86	2	2				1	0.0698	0.07			
					社会	97	2	2				1	0.0619	0.06			
					自然	84	2	2				1	0.0714	0.07			
				総合	一般	80		2	4	/2	1	0.0750	0.08				
					高学年次	57											
					琉大特色	79		2			1	0.0759	0.08				
				基幹	情報	40	2	2			/14	1	0.1500	0.15			
					英語	34	6	6			2	0.1935	0.39	英語のみの取得を想定。			
					第二外国	31											
				専門基礎教育	専門基礎	68											
				合計							16	20			9		1.0

学科 課程等	専攻 専修 コース系	入学 定員	必要 単位数	科目	領域	平均 定員	個別領域 単位規定	単位取 得想定 モデル	複数領域単位規定		必要 科目数	定員比 (入学定員/ 平均定員)	必要 クラス規模	備考					
学校 教育 教員養成課程	小・中 学校 教育 専修 コース	8	24	教養	健康運動	38	2	2		14	1	0.2105	0.21						
					人文	86	2	2			1	0.0930	0.09						
					社会	97	2	2			1	0.0825	0.08						
					自然	84	4	4			2	0.0952	0.19						
				総合	一般	80		2	2 /2	1	0.1000	0.10							
					高学年次 琉大特色	57													
					情報	40	2	2											
				基幹	英語	34	6	6		/14	1	0.2000	0.20						
					第二外国	31								2	0.2581	0.52	英語のみの取得を想定。		
					専門基礎教育 専門基礎	68	4	4											
				合計			22	24			11		1.6						
				学校 教育 教員養成課程	小・中 学校 教育 専修 コース	6	20	教養	健康運動	38	2	2	6	10	14	1	0.1579	0.16	
									人文	86	2	2				1	0.0698	0.07	
									社会	97	2	2				1	0.0619	0.06	
									自然	84		2				1	0.0714	0.07	
総合	一般	80						2	6 /4	/10	1	0.0750	0.08						
	高学年次 琉大特色	57						2											
	情報	40	2					2											
基幹	英語	34	6					6		/14	1	0.1500	0.15						
	第二外国	31												2	0.1935	0.39	英語のみの取得を想定。		
	専門基礎教育 専門基礎	68																	
合計			14					20			9		1.0						
学校 教育 教員養成課程	小・中 学校 教育 専修 コース	5	20					教養	健康運動	38	2	2		14	1	0.1316	0.13		
									人文	86	2	2			1	0.0581	0.06		
									社会	97	2	2			1	0.0515	0.05		
									自然	84	2	2			1	0.0595	0.06		
				総合	一般	80		2	2 /2	1	0.0625	0.06							
					高学年次 琉大特色	57													
					情報	40	2	2											
				基幹	英語	34	6	6		/14	1	0.1250	0.13						
					第二外国	31								2	0.1613	0.32	英語のみの取得を想定。		
					専門基礎教育 専門基礎	68													
				合計			18	20			9		0.9						

学科 課程等	専攻 専修 コース系	入学 定員	必要 単位数	科目	領域	平均 定員	個別領域 単位規定	単位取 得想定 モデル	複数領域単位規定	必要 科目数	定員比 (入学定員/ 平均定員)	必要 クラス規模	備考		
学校教育教員養成課程	小・中 学校教科教育 専修コース	5	20	教養	健康運動	38	2	2	10	14	1	0.1316	0.13		
					人文	86	2	2			1	0.0581	0.06		
					社会	97	2	2			1	0.0515	0.05		
					自然	84	2	2			1	0.0595	0.06		
				総合	一般	80		2	/10	/14	1	0.0625	0.06		
					高学年次	57									
					琉大特色	79		2			1	0.0633	0.06		
				基幹	情報	40	2	2			1	0.1250	0.13		
					英語	34	6	6			2	0.1613	0.32	英語のみの取得を想定。	
					第二外国	31									
				専門基礎教育	専門基礎	68									
	合計						16	20		9		0.9			
	小・中 学校教科教育 専修コース	6	20	教養	健康運動	38	2	2	4	14	1	0.1579	0.16		
					人文	86	2	2			1	0.0698	0.07		
					社会	97	2	2			1	0.0619	0.06		
					自然	84	2	2			1	0.0714	0.07		
				総合	一般	80		2	/2	/14	1	0.0750	0.08		
					高学年次	57									
					琉大特色	79		2			1	0.0759	0.08		
				基幹	情報	40	2	2			1	0.1500	0.15		
					英語	34	6	6			2	0.1935	0.39	英語のみの取得を想定。	
					第二外国	31									
				専門基礎教育	専門基礎	68									
	合計						16	20		9		1.0			
	小・中 学校教科教育 専修コース	5	28	教養	健康運動	38	2	2	2	14	1	0.1316	0.13		
					人文	86	2	2			1	0.0581	0.06		
					社会	97	2	2			1	0.0515	0.05		
自然					84	4	4	2			0.0595	0.12			
総合				一般	80		2	/2	/14	1	0.0625	0.06			
				高学年次	57										
				琉大特色	79										
基幹				情報	40	2	2			1	0.1250	0.13			
				英語	34	6	6			2	0.1613	0.32	英語のみの取得を想定。		
				第二外国	31										
専門基礎教育				専門基礎	68	8	8			4	0.0735	0.29			
合計									26	28		13		1.2	

学科課程等	専攻専修コース	入学定員	必要単位数	科目	領域	平均定員	個別領域単位規定	単位取得想定モデル	複数領域単位規定	必要科目数	定員比 (入学定員/平均定員)	必要クラス規模	備考		
学校教育教員養成課程	小・中学校教科教育コース 生活科学教育専修	5	20	教養	健康運動	38	2	2	14	1	0.1316	0.13			
					人文	86	2	2			0.0581	0.06			
					社会	97	2	2			0.0515	0.05			
					自然	84	2	2			0.0595	0.06			
				総合	一般	80		2		4	1	0.0625	0.06		
					高学年次	57									
					琉大特色	79		2				/2	1	0.0633	0.06
				基幹	情報	40	2	2		/14	1	0.1250	0.13		
					英語	34	6	6				2	0.1613	0.32	英語のみの取得を想定。
					第二外国	31									
	専門基礎教育	専門基礎	68												
	合計			16	20			9		0.9					
	小・中学校教科教育コース 英語教育専修	6	20	教養	健康運動	38	2	2	14	1	0.1579	0.16			
					人文	86	2	2			0.0698	0.07			
					社会	97	2	2			0.0619	0.06			
					自然	84	2	2			0.0714	0.07			
				総合	一般	80		2		4	1	0.0750	0.08		
					高学年次	57									
					琉大特色	79		2				/2	1	0.0759	0.08
				基幹	情報	40	2	2		/14	1	0.1500	0.15		
					英語	34	6	6				2	0.1935	0.39	英語のみの取得を想定。
					第二外国	31									
	専門基礎教育	専門基礎	68												
	合計			16	20			9		1.0					
	特別支援教育コース	12	20	教養	健康運動	38	2	2	14	1	0.3158	0.32			
					人文	86	2	2			0.1395	0.14			
					社会	97	2	2			0.1237	0.12			
自然					84	2	2	0.1429			0.14				
総合				一般	80		2	4		1	0.1500	0.15			
				高学年次	57										
				琉大特色	79		2				/2	1	0.1519	0.15	
基幹				情報	40	2	2	/14		1	0.3000	0.30			
				英語	34	6	6				2	0.3871	0.77	英語のみの取得を想定。	
				第二外国	31										
専門基礎教育	専門基礎	68													
合計			16	20			9		2.1						

学科 課程等	専攻 専修 コース系	入学 定員	必要 単位数	科目	領域	平均 定員	個別領域 単位規定	単位取 得想定 モデル	複数領域単位規定		必要 科目数	定員比 (入学定員/ 平均定員)	必要 クラス規模	備考	
生涯教育課程	子ども地域教育コース	30	20	教養	健康運動	38	2	2	4 /2	14 /14	1	0.7895	0.79		
					人文	86	2	2			1	0.3488	0.35		
					社会	97	2	2			1	0.3093	0.31		
					自然	84	2	2			1	0.3571	0.36		
				総合	一般	80		2			1	0.3750	0.38		
					高学年次	57									
					琉大特色	79		2			1	0.3797	0.38		
				基幹	情報	40	2	2			1	0.7500	0.75		
					英語	34	6	6			2	0.9677	1.94	英語のみの取得を想定。	
					第二外国	31									
				専門基礎教育	専門基礎	68									
	合計			16	20	9		5.2							
	沖縄島嶼教育コース	15	20	教養	健康運動	38	2	2	4 /2	14 /14	1	0.3947	0.39		
					人文	86	2	2			1	0.1744	0.17		
					社会	97	2	2			1	0.1546	0.15		
					自然	84	2	2			1	0.1786	0.18		
				総合	一般	80		2			1	0.1875	0.19		
					高学年次	57									
					琉大特色	79		2			1	0.1899	0.19		
				基幹	情報	40	2	2			1	0.3750	0.38		
					英語	34	6	6			2	0.4839	0.97	英語のみの取得を想定。	
					第二外国	31									
				専門基礎教育	専門基礎	68									
	合計			16	20	9		2.6							
	自然環境科学教育コース	15	20	教養	健康運動	38	2	2	6 /4	10 /10	14 /14	1	0.3947	0.39	
					人文	86	2	2				1	0.1744	0.17	
					社会	97	2	2				1	0.1546	0.15	
自然					84		2	1				0.1786	0.18		
総合				一般	80		2	1				0.1875	0.19		
				高学年次	57										
				琉大特色	79		2	1				0.1899	0.19		
基幹				情報	40	2	2	1				0.3750	0.38		
				英語	34	6	6	2				0.4839	0.97	英語のみの取得を想定。	
				第二外国	31										
専門基礎教育				専門基礎	68										
合計			14	20	9		2.6								

学科 課程等	専攻 専修 コース系	入学 定員	必要 単位数	科目	領域	平均 定員	個別領域 単位規定	単位取 得想定 モデル	複数領域単位規定	必要 科目数	定員比 (入学定員/ 平均定員)	必要 クラス規模	備考			
生涯教育課程	生涯健康教育コース	10	20	教養	健康運動	38	2	2	14	1	0.2632	0.26				
					人文	86	2	2		1	0.1163	0.12				
					社会	97	2	2		1	0.1031	0.10				
					自然	84	2	2		1	0.1190	0.12				
				総合	一般	80		2		4	1	0.1250	0.13			
					高学年次	57										
					琉大特色	79		2			/4	1	0.1266	0.13		
				基幹	情報	40	2	2		/14	1	0.2500	0.25			
					英語	34	6	6	2		0.3226	0.65	英語のみの取得を想定。			
					第二外国	31										
				専門基礎教育	専門基礎	68										
				合計			16	20				9		1.7		
	心理臨床科学コース	20	24	教養	健康運動	38	2	2	14	1	0.5263	0.53				
					人文	86	4	4		2	0.2326	0.47				
					社会	97	2	2		1	0.2062	0.21				
					自然	84	2	2		1	0.2381	0.24				
				総合	一般	80	2	2		/14	1	0.2500	0.25			
					高学年次	57										
					琉大特色	79										
				基幹	情報	40	2	2		/14	1	0.5000	0.50			
					英語	34	6	6	2		0.6452	1.29	英語のみの取得を想定。			
					第二外国	31										
				専門基礎教育	専門基礎	68	4	4				2	0.2941	0.59		
				合計			24	24				11		4.1		

◇共通教育等科目の提供に係る必要クラス規模算出表(理学、昼間主、新カリ)

学科 課程 等	専攻 専修 コース 系	入学 定員	必要 単位数	科目	領域	平均 定員	個別領域 単位規定	単位取 得想定 モデル	複数領域単位規定		必要 科目数	定員比 (入学定員/ 平均定員)	必要 クラス規模	備考	
数理科学科		40	34	教養	健康運動	38	2	2	12	14	1	1.0526	1.05		
					人文	86	2	2			1	0.4651	0.47		
					社会	97	2	2			1	0.4124	0.41		
					自然	84	2	2			1	0.4762	0.48		
				総合	一般	80		2	/12	/14	1	0.5000	0.50		
					高学年次	57		2			1	0.5063	0.51		
					琉大特色	79		2			1	1.0000	1.00		
				基幹	情報	40		2			1	1.1765	1.18	英語④	
					英語	34	4	4			2	1.2903	2.58	第二外国語④	
					第二外国	31	4	4			6	0.5882	3.53		
				専門基礎教育	専門基礎	68	12	12			16		11.7		
合計					28	34									
物質地球科学科	物理系	40	45	教養	健康運動	38	2	2	6	18	20	1	1.0526	1.05	
					人文	86	4	4				2	0.4651	0.93	
					社会	97	4	4				2	0.4124	0.82	
					自然	84		2				1	0.4762	0.48	
				総合	一般	80		2	/6	/20	1	0.5000	0.50		
					高学年次	57		2			1	0.7018	0.70		
					琉大特色	79		2			1	0.5063	0.51		
				基幹	情報	40		2			1	1.0000	1.00		
					英語	34	8	8			3	1.1765	3.53	英語⑧	
					第二外国	31	4	4			2	1.2903	2.58	第二外国語④	
				専門基礎教育	専門基礎	68	13	13			7	0.5882	4.12	物理学実験①	
合計					35	45		22		16.2					
物質地球科学科	地学系	25	45	教養	健康運動	38	2	2	4	16	18	1	0.6579	0.66	
					人文	86	4	4				2	0.2907	0.58	
					社会	97	4	4				2	0.2577	0.52	
					自然	84		2				1	0.2976	0.30	
				総合	一般	80		2	/2	/18	1	0.3125	0.31		
					高学年次	57		2			1	0.3165	0.32		
					琉大特色	79		2			1	0.6250	0.63		
				基幹	情報	40		2			1	0.6250	0.63		
					英語	34	10	10			4	0.7353	2.94	英語⑩	
					第二外国	31	4	4			2	0.8065	1.61	第二外国語④	
				専門基礎教育	専門基礎	68	13	13			7	0.3676	2.57	実験系科目①	
合計					37	45		22		10.4					

学科課程等	専攻専修コース系	入学定員	必要単位数	科目	領域	平均定員	個別領域単位規定	単位取得想定モデル	複数領域単位規定	必要科目数	定員比 (入学定員/ 平均定員)	必要クラス規模	備考		
海洋自然科学科	化学系	47	46	教養	健康運動	38		2	18	20	1	1.2368	1.24		
					人文	86	4	4			2	0.5465	1.09		
					社会	97	4	4			2	0.4845	0.97		
					自然	84		2			1	0.5595	0.56		
				総合	一般	80		2	/18	/20	1	0.5875	0.59		
					高学年次	57		2			1	0.8246	0.82		
					琉大特色	79		2			1	0.5949	0.59		
				基幹	情報	40		2			1	1.1750	1.18		
					英語	34	8	8			3	1.3824	4.15	英語③	
					第二外国	31	4	4			2	1.5161	3.03	第二外国語④	
				専門基礎教育	専門基礎	68	14	14			8	0.6912	5.53	化学実験①、実験系科目①	
				合計					34	46		23		19.7	
				生物系	48	46	教養	健康運動	38	2	2	8	18	20	1
	人文	86	4					4	2	0.5581	1.12				
	社会	97	4					4	2	0.4948	0.99				
	自然	84						2	1	0.5714	0.57				
	総合	一般	80					2	/6	/18	/20	1	0.6000	0.60	
		高学年次	57					2				1	0.8421	0.84	
		琉大特色	79					2				1	0.6076	0.61	
	基幹	情報	40					2			1	1.2000	1.20		
		英語	34				8	8			3	1.4118	4.24	英語③	
		第二外国	31				4	4			2	1.5484	3.10	第二外国語④	
	専門基礎教育	専門基礎	68	14	14			8	0.7059	5.65	生物学実験①、実験系科目①				
合計					36	46		23		20.2					

◇共通教育等科目の提供に係る必要クラス規模算出表(医学、昼間主、新カリ)

学科課程等	専攻専修コース系	入学定員	必要単位数	科目	領域	平均定員	個別領域単位規定	単位取得想定モデル	複数領域単位規定	必要科目数	定員比 (入学定員/平均定員)	必要クラス規模	備考	
医学科	107	43	教養	健康運動	38									
				人文	86	4	4	2		1.2442	2.49			
				社会	97	4	4	2		1.1031	2.21			
				自然	84									
			総合	一般	80	4	4	2		1.3375	2.68			
				高学年次	57	2	2	1		1.8772	1.88			
				琉大特色	79									
			基幹	情報	40	2	2	1		2.6750	2.68			
				英語	34	6	6	2		3.1471	6.29			
				第二外国	31	4	4	2		3.4516	6.90			
			専門基礎教育	専門基礎	68	17	17	10		1.5735	15.74			
			合計			43	43	22			40.9			
保健学科	(看護学コース) (定員数は仮定)	40	28	教養	健康運動	38	2	2	2 /2	18	1	1.0526	1.05	
					人文	86	4	4			2	0.4651	0.93	
					社会	97	4	4			2	0.4124	0.82	
					自然	84	4	4			2	0.4762	0.95	
				総合	一般	80		2			1	0.5000	0.50	
					高学年次	57								
					琉大特色	79								
				基幹	情報	40	2	2			1	0.5063	0.51	
					英語	34	4	4			1	1.0000	1.00	
	第二外国	31	4		4	1	1.1765	1.18						
	専門基礎教育	専門基礎	68			2	1.2903	2.58						
	合計			24	28			13	9.5					
	(検査技術学コース) (定員数は仮定)	20	33	教養	健康運動	38	2	2	2 /2	18	1	0.5263	0.53	
					人文	86	4	4			2	0.2326	0.47	
					社会	97	4	4			2	0.2062	0.41	
					自然	84	4	4			2	0.2381	0.48	
				総合	一般	80		2			1	0.2500	0.25	
					高学年次	57								
琉大特色					79		2							
基幹				情報	40	2	2	1			0.2532	0.25		
				英語	34	4	4	1			0.5000	0.50		
	第二外国	31	4	4	1	0.5882	0.59							
専門基礎教育	専門基礎	68	5	5	2	0.6452	1.29							
合計			29	33			3	0.2941	0.88					
										16	5.6			

◇共通教育等科目の提供に係る必要クラス規模算出表(工学、昼間主、新カリ)

学科課程等	専攻専修コース系	入学定員	必要単位数	科目	領域	平均定員	個別領域単位規定	単位取得想定モデル	複数領域単位規定		必要科目数	定員比 (入学定員/平均定員)	必要クラス規模	備考
機械システム工学科	90	44	教養	健康運動	38	2	2	6 /4	18	1	2,3684	2.37		
				人文	86	2	4			2	1,0465	2.09		
				社会	97	2	2			1	0,9278	0.93		
				自然	84		2			1	1,0714	1.07		
			総合	一般	80		2			1	1,1250	1.13		
				高学年次	57		2			1	1,5789	1.58		
				琉大特色	79		2			1	1,1392	1.14		
			基幹	情報	40	4	4			/18	2	2,2500	4.50	
				英語	34	8	8				3	2,6471	7.94	英語⑥
				第二外国	31	4	4				2	2,9032	5.81	第二外国語④
			専門基礎教育	専門基礎	68	12	12			7	1,3235	9.26	物理学実験①、化学実験①	
			合計			34	44				22		37.8	
			土木コース	45	39	教養	健康運動			38	2	2	6 /2	16
人文	86	2					4	2	0,5233	1.05				
社会	97	2					2	1	0,4639	0.46				
自然	84						2	1	0,5357	0.54				
総合	一般	80					2	1	0,5625	0.56				
	高学年次	57					2	1	0,7895	0.79				
	琉大特色	79					2	1	0,5696	0.57				
基幹	情報	40				2	2	/16	1	1,1250	1.13			
	英語	34				8	8		3	1,3235	3.97	英語⑥		
	第二外国	31				4	4		2	1,4516	2.90	第二外国語④		
専門基礎教育	専門基礎	68				9	9	5	0,6618	3.31	物理学実験①			
合計						29	39		19		16.5			
建築コース	45	42				教養	健康運動	38	2	2	6 /2	16		
			人文	86	2		4	2	0,5233	1.05				
			社会	97	2		2	1	0,4639	0.46				
			自然	84			2	1	0,5357	0.54				
			総合	一般	80		2	1	0,5625	0.56				
				高学年次	57		2	1	0,7895	0.79				
				琉大特色	79		2	1	0,5696	0.57				
			基幹	情報	40	2	2	/16	1	1,1250			1.13	
				英語	34	8	8		3	1,3235			3.97	英語⑥
				第二外国	31	4	4		2	1,4516			2.90	第二外国語④
			専門基礎教育	専門基礎	68	12	12	7	0,6618	4.30			物理学実験①、コマ数：小数点切り上げ済み	
			合計			32	42		20.5				17.5	

学科 課程等	専攻 専修 コース 系	入学 定員	必要 単位数	科目	領域	平均 定員	個別領域 単位規定	単位取 得想定 モデル	複数領域単位規定		必要 科目数	定員比 (入学定員/ 平均定員)	必要 クラス規模	備考		
電気電子工学科	80	40	教養	健康運動	38	2	2	6	1	2.1053	2.11					
				人文	86	2	4					2	0.9302	1.86		
				社会	97	2	2								1	0.8247
				自然	84											
			総合	一般	80		4	8	8	2	1.0000	2.00				
				高学年次	57		2						1	1.4035	1.40	
				琉大特色	79		2									1
			基幹	情報	40	2	2	1	2.0000	2.00						
				英語	34	8	8				3	2.3529	7.06	英語⑧		
				第二外国	31	4	4							2	2.5806	5.16
			専門基礎教育	専門基礎	68	10	10	6	1.1765	7.06	物理学実験①、化学実験①					
			合計			30	40						20		30.5	
			情報工学科	60	40	教養	健康運動	38	2	2	10 /10	16	1	1.5789	1.58	
人文	86	2					6	3	0.6977	2.09						
社会	97	2					4									2
自然	84						2	1	0.7143	0.71						
総合	一般	80					2				4	/2	1	0.7500	0.75	
	高学年次	57						1	0.7595	0.76						
	琉大特色	79					2									1
基幹	情報	40				2	2	3	1.7647	5.29	英語⑧					
	英語	34				8	8				2	1.9355	3.87	第二外国語④		
	第二外国	31				4	4							4	0.8824	3.53
専門基礎教育	専門基礎	68				8	8			19		21.3				
合計						28	40									

◇共通教育等科目提供に係る必要クラス規模 算出表 (農学、昼間主、新カリ)

学科 課程等	専攻 専修 コース 系	入学 定員	必要 単位数	科目	領域	平均 定員	個別領域 単位規定	単位取 得想定 モデル	複数領域 単位規定	必要 科目数	定員比 (入学定員/ 平均定員)	必要 クラス規模	備考
亜熱帯地域農学科	35	44	教養	健康運動	38	4	4	16	/16	2	0.9211	1.84	
				人文	86	4	4			2	0.4070	0.81	
				社会	97	4	4			2	0.3608	0.72	
				自然	84		2			1	0.4167	0.42	
			総合	一般	80		2	1	0.4375	0.44			
				高学年次	57		2	1	0.6140	0.61			
				琉大特色	79		2	1	0.4430	0.44			
			基幹	情報	40	2	2	1	0.8750	0.88			
				英語	34	8	8	3	1.0294	3.09	英語⑧		
				第二外国	31	4	4	2	1.1290	2.26	第二外国語④		
			専門基礎教育	専門基礎	68	10	10	6	0.5147	3.09	実験系科目①を含む2系を想定。		
			合計			36	44	22		14.6			
亜熱帯農林環境科学科	35	44	教養	健康運動	38	4	4	16	/16	2	0.9211	1.84	
				人文	86	4	4			2	0.4070	0.81	
				社会	97	4	4			2	0.3608	0.72	
				自然	84		2			1	0.4167	0.42	
			総合	一般	80		2	1	0.4375	0.44			
				高学年次	57		2	1	0.6140	0.61			
				琉大特色	79		2	1	0.4430	0.44			
			基幹	情報	40	2	2	1	0.8750	0.88			
				英語	34	8	8	3	1.0294	3.09	英語⑧		
				第二外国	31	4	4	2	1.1290	2.26	第二外国語④		
			専門基礎教育	専門基礎	68	10	10	6	0.5147	3.09	実験系科目①を含む2系を想定。		
			合計			36	44	22		14.6			
地域農業工学科	25	46	教養	健康運動	38	4	4	16	/16	2	0.6579	1.32	
				人文	86	4	4			2	0.2907	0.58	
				社会	97	4	4			2	0.2577	0.52	
				自然	84		2			1	0.2976	0.30	
			総合	一般	80		2	1	0.3125	0.31			
				高学年次	57		2	1	0.4386	0.44			
				琉大特色	79		2	1	0.3165	0.32			
			基幹	情報	40	2	2	1	0.6250	0.63			
				英語	34	8	8	3	0.7353	2.21	英語⑧		
				第二外国	31	4	4	2	0.8065	1.61	第二外国語④		
			専門基礎教育	専門基礎	68	12	12	7	0.3676	2.57	実験系科目①を含む2系を想定。		
			合計			38	46	23		10.8			

学科 課程等	専攻 専修 コース 系	入学 定員	必要 単位数	科目	領域	平均 定員	個別領域 単位規定	単位取得 想定 モデル	複数領域 単位規定	必要 科目数	定員比 (入学定員/ 平均定員)	必要 クラス規模	備考				
亜熱帯生物資源科学科		35	46	教養	健康運動	38	4	4	16	2	0.9211	1.84					
					人文	86	4	4		2	0.4070	0.81					
					社会	97	4	4		2	0.3608	0.72					
					自然	84		2		1	0.4167	0.42					
				総合	一般	80		2	/16	1	0.4375	0.44					
					高学年次	57		2		1	0.6140	0.61					
					琉大特色	79		2		1	0.4430	0.44					
				基幹	情報	40	2	2		1	0.8750	0.88					
					英語	34	8	8		3	1.0294	3.09	英語⑧				
					第二外国	31	4	4		2	1.1290	2.26	第二外国語④				
				専門基礎教育	専門基礎	68	12	12		7	0.5147	3.60	実験系科目①を含む2系を想定。				
				合計							38	46		23		15.1	